

まだまだあります! 学校と地域のコラボ[※]

学校と地域が連携した特色ある取り組みが、市内各地で行われています。その一部を紹介します。

※コラボ…コラボレーション(協働)の略

4 東区美香保小学校 土曜日の学校で科学の祭典



教師、PTA、地域住民、大学生が集まり、年に1度、出入り自由のイベント「美香保サイエンススクール」を行っています。体育館のほか10教室で、ヘリコプターやラジオ作り、人工かみなり、科学捜査の実演などを実施。同小の名物行事として多くの方に親しまれています。

5 豊平区旭小学校 地域の道路を花でいっぱい



全校児童265人が一堂に会し、毎年、中の島通りの花壇に苗を植えています。町内会や老人クラブ、PTAの方が児童に植え方を教えたり、植えた後の草取りを児童と一緒にしたりして活動に協力。300[㎡]以上にわたって通りが美しく彩られ、歩道の交通安全にもつながりました。

6 清田区平岡小学校 校内のビオトープでホタル観賞



地域住民からなる「札幌清田ホタルの会」から提供されたホタルの幼虫を、児童が教室で半年間育てた後、校内のビオトープ^{*}に放流。その2カ月後の7月下旬に、成虫になったホタルを保護者や地域の方と一緒に観賞します。初めて間近で見るホタルに児童たちは大喜びです。

※校庭などに造成された生物の生息環境

7 手稲区手稲北小学校 広大な農園でスイカを栽培



地域の農家の方から借りたテニスコート8面分の農園で、全児童が野菜を栽培しています。中でも6年生が栽培するスイカは、農家の方からのアドバイスと地質のおかげでとても甘いと大好評。今年は300個以上の収穫があり、家庭やほかの学年の児童にもふるまわれました。

市長
から



さっぽろっこを市民みんなではぐくもう

市は、今年4月1日に子どもの権利条例^{*}を施行し、子どもが社会に関心を持ち、将来のまちづくりの担い手として成長していくことを支える街を目指しています。その実現のためには、家庭や学校だけで完結する教育から一歩進んだ、地域ぐるみでの教育が重要です。今回紹介したような、保護者、地域、学校が一体となって、子どもを温かくはぐくむ取り組みがさらに広がっていくよう、市は、まちづくりセンターなどを通じてしっかりサポートしていきます。

※正式名称:札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例

う え だ ふ み お
札幌市長 上田 文雄